

令和4年度 学校評価 自己評価(教職員) 集約結果

令和5年(2023年)3月30日

総務部

I 【働き方改革】

・働き方改革を進めるために、的確な取組が行われている。

1 【4段階評価】

57件の回答



意見、アイデア

- 学年の業務分担に隔たりを感じるがあった。意見に対ししっかりと耳を傾けて考え、公平な分担(業務量の均衡化)をしてほしい。
- 超過勤務時間を減らすような意識付けはされてきた。しかし、分掌の業務については職員で偏りがあり、業務の精選、役割分担の見直しを今年度中に各部署で行うと良いのでは。
- 業務で新しく始めるものがあつたときは、何かを削る、中止するということとセットで考えていく必要があるのでは。
- 効率よくという意味では、細かい部分で改善点がかかなり多いのでは。
- 教育課程等を見直し、生徒の下校時間を早め、職員のデスクワークの時間を増やしてほしい。
- 幅広く意見やアイデアをとって、業務の効率化を検討してほしい。



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)より

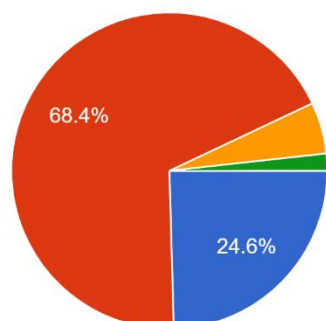
- 2割近くが未達成と感じていることから、更なる取組みが求められる。
- 具体的に進んで効果を感じていたが、各々の視点や感じ方の違いが明らかになった。
- 子どもと向き合う時間と質が改善されることが重要。
- 役割分担について、一人一係を意識するなど、子どもと関わるものを中心に整理すると良い。
- コロナ禍の中で、働き方が本当に改善されたのか疑問が残る。
- 職員のデスクワークの時間を確保してほしいという声は、実現した方が良い。

2【教育環境の整備】

- ・校内組織と連携・調整が図られている。
- ・事務部と連携し、予算が適切に執行されている。

2 【4段階評価】

57件の回答



平均3.16

- 4 : 達成している (適切である)
- 3 : 徐々に達成してきている (ほぼ適切である)
- 2 : あまり達成されていない (あまり適切ではない)
- 1 : 達成されていない (適切ではない)

意見、アイデア

○情報共有を徹底してほしい。



検討結果

○予算については、事務部と連携し、引き続き職員への周知を徹底する。



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)より

○必要な予算についての情報共有が更にあると良い。

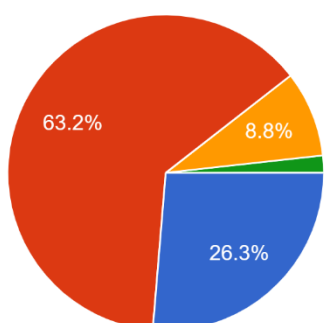
○環境は見事に整備されていると思われる。

3【教育課程、学習指導】

- ・生徒一人一人に応じた教育活動が推進されている。
- ・各教科のPDCAサイクル(シラバス)の見直しが行われている。

3 【4段階評価】

57件の回答



平均3.14

- 4 : 達成している (適切である)
- 3 : 徐々に達成してきている (ほぼ適切である)
- 2 : あまり達成されていない (あまり適切ではない)
- 1 : 達成されていない (適切ではない)

意見、アイデア

○学習に乘れない生徒への学習保障の場をどうするかについて、改善が必要では。

○それぞれの教科等の位置付け

・普通科と職業学科の時数やそのねらい、内容の整理が必要と感じている。

(例) 普通科に数学や国語が3コマある理由。また、職業学科の数学との違い。

・生徒の実態や生活の文脈から離れすぎた授業内容がないか。

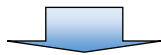
(例) 計画したシラバスの他に、実施した授業や生徒の学びにどれだけつなげることができたかという視点での計画、授業の見直し

・各教科等が、ねらいや理由が明確ではないまま、習熟度別で授業を展開しているのでは。

(例) いつも一緒ではなくても、対話的な学習の場面や深い学びにつなげるために様々な物の見方や考え方を知る場面、単元によって学習集団を変化させることが望ましいと考えられる場面など、ねらいや状況によって変えることが大切では。

○シラバスについて、各教科や学科で見直しを行い、生徒や保護者に示してはどうか。

○指導と評価の一体化(効率の良い評価)について研究、観点別評価についての研修が必要では。



検討結果

○学習に乘れない生徒への対応については、必要に応じて指導体制を工夫することや、学年や校内支援委員会等で生徒の状況を確認しながら必要な学習が保障できるように検討する。

○シラバスについては、次年度から新様式で運用する。運用方法等について検証しながら進める。

また、各教科のシラバスの見直しについては、学習指導要領の内容が網羅されているか今年度確認中。

○観点別学習評価については、教育課程検討委員会で方向性を確認しており、教科会や学科会で評価の観点等を確認していく。



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)より

○授業を参観して、主体的な子ども達の活動が多く見られた。

○一人一人への対応について1割近くが必要を感じていることから、改善が必要では。

○卒業生の様子について、フィードバックが十分に行われると良い。

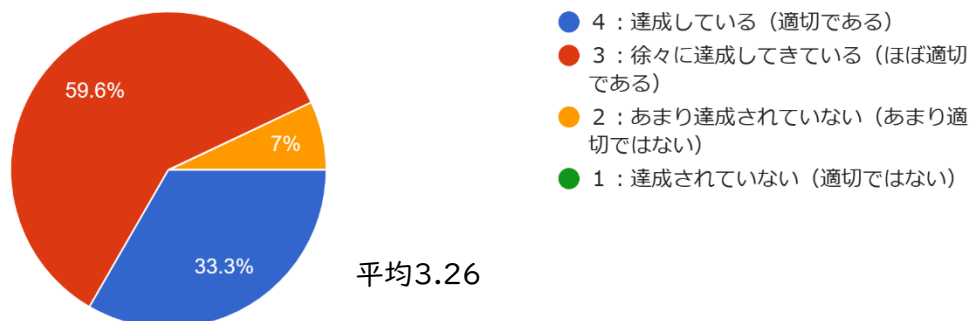
○教育課程について見直し・充実が必要では。

4【教育課程、学習指導】

- ・ICTに関わる教育環境の整備が推進されている。

4 【4段階評価】

57件の回答



意見、アイデア

- 教員用の iPad について、バッテリー切れなどがある。
- iPad の活用を多く取り入れた授業展開を目指した方が良い。
- 教職員の ICT への意識をもう少し高める必要があるのでは。
- 教員側の機器が不十分。教員一人一人に端末があることが理想であり、学校としてではなく道教委として対応するべきでは。
- ICT 機器の整備、メンテナンスには時間と労力が掛かるため、担当者の負担が心配。



検討結果

- タブレット端末の教職員1人1台の割り当てについては、管理職から道教委に対して訴えてほしい。
- 教職員の ICT への意識を高めるために、次年度からミニ研修会を行いながら、苦手な先生方でも操作できるような研修を開催していく。
- タブレット端末を活用した授業の展開について、情報を共有しながら行っていく。
- 担当者の負担は大きい。次年度は MDM を導入することで軽減される。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

- ICT の環境整備については、道教委がもっと積極的に行わなければならない。
- ICT の活用を通して、生徒のどんな力を伸ばすのかを明らかにした方が良い。
- 学習の様子などを写真等で記録されているのは、分かりやすい。
- 指導やアドバイスについて、タイミング良くされていると感じた。

5【研修】

- ・目指す生徒像の実現に向け、教職員の対話と実践を中心に研究が推進されている。
- ・教職員の専門性を向上するために、校内研修や校外研修が推進されている。

5 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイデア

- 初任段階者への研修が不十分では。
- できるだけ、授業作りや普段の指導に直接関連のある内容で校内研修を進めてほしい。



検討結果

- 初任段階者への研修については、1・2年目は授業研究、3年目は授業見学を通したレポート提出を計画する。
- 校内研修に関して、自立活動は授業作りや普段の指導に直接関連する内容だと考える。研究の方法として至らない部分があったと思われるため、次年度以降は校内研究や研修の内容、方法をより日々の指導等につなげるように努める。



学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) より

- 研修について良くなっているという評価が出ているが、更にもうひと工夫が必要では。
- 研究については、職員が同じ視点で進められることが理想だが、共通化されていない部分があるのでは。
- 働き方改革との関係もあるが、研修時間を確保することも必要では。

6【情報教育、情報発信】

- ・文化的活動や学芸的行事、図書教育の充実が図られている。
- ・情報発信が積極的に行われ、地域のセンター的機能の充実が図られている。

6 【4段階評価】

57件の回答



意見、アイデア

○図書教育については、ごく限られた担当者の努力に頼っているように見えるため、複数で担当した方がよいのでは。



検討結果

○今後は複数で担当していく。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

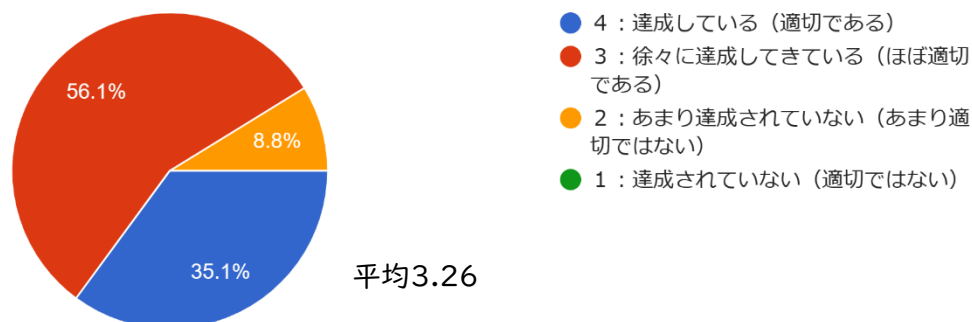
- 図書教育の推移、取組みについては興味があるところ。
- 紙情報の要・不要、デジタル情報と比較した上でのメリット・デメリットについて確認すると良い。

7【保健管理】

- ・健康・安全・美化についての指導が計画的に行われている。
- ・体育的行事の企画や、体育館などの環境整備が行われている。
- ・生徒の生育歴や健康状態を把握し、関係者で情報が共有されている。

7 【4段階評価】

57件の回答



意見、アイデア

- コロナ禍で制限はあったが、以前のように行事や活動場面を増やしても良いのでは。
- 性教育が学校全体で取り組めると良い。
- 冬季の体育館入り口の水道を使えるようにしてほしい。
- 廊下にごみが落ちていることが多い。環境科や公務補さんだけで回らないのであれば、各科に担当エリアを割り当てて、作業学習などに位置付けてはどうか（清掃時間の確保）。

検討結果

- 健康・体育部の行事（スポーツレクなど）か、学校全体の行事かにもよるが、健康・体育部として行事の計画を立てているわけではないため、他組織と検討していく。
- 性教育については、教科（どの教科で行うか）や教務部との検討が必要。
- 冬季の体育館入り口の水道については、施設・設備の話だと思うため事務部で検討してほしい。
- 清掃時間の確保については、運営委員会（生徒の登下校の時間）や教育課程検討委員会（時間割や時数）での検討が必要。健康・体育部としては、割り振り等を業務として取り組むことは可能。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

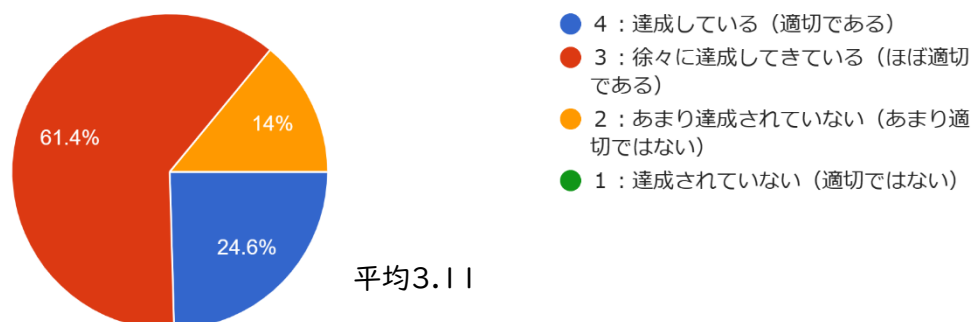
- 自立支援という観点からは、性教育の工夫が求められる。
- 今後のコロナ等の対策について、先を見通して想定しておくことが必要では。
- 適切に行われていると思われる。

8 【生徒指導、安全管理】

- ・規範意識に基づいて行動できるように日常な生活指導が行われている。
- ・校内外の組織と連携し、全校体制で組織的・計画的な生徒指導が行われている。

8 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイデア

- 規範意識に関わり、全職員の共通認識、指導が確実に必要では。
- もう少し日常的に生徒の人権を尊重した指導ができると良い。
- 触法行為は学年や担任ではなく、生徒指導部を中心に学校として対応するべきでは。
- 特別指導について、学年内での指導内容の検討や経過の共有が不十分なケースがあり、評価しにくいところがあった。学年主任や学年生徒指導部が十分に連携してほしい。
- 学年や教員によって各生徒への対応が異なり過ぎると感じる。社会に出たときに許されるのかなど、様々なことを考慮した上で学校として最低ラインの規則・規準が必須では。
- 問題が起こった段階で一部の関係者だけで物事を進めようとする傾向がある。情報開示と早めに対策委員会を開くべきでは。
- 表面だけでない指導、学校の保身ににならない指導が必要では。
- ほとんど全ての案件に指導部長が指導に入っているように見え、部長の負担が心配。学年指導部や学年の職員に指導を任せるケースがもっとあっても良い。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

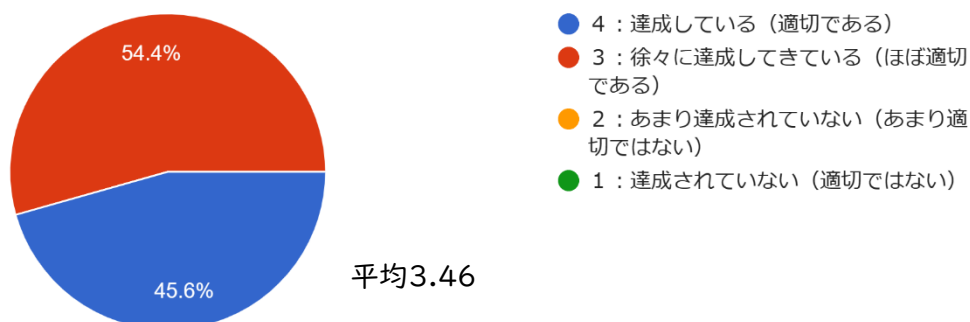
- いじめは生徒から声が上がる場合もあるが、いかに学級内の人間関係を先生達が把握できるかにかかっていると言える。
- いじめられていると声を上げない場合もあるため、丁寧に状況を把握することが大切。

9 【生徒会、部・同好会】

- ・生徒会、部・同好会、委員会の活動内容について、整備や調整、精選が行われている。
- ・全校生徒の意見が反映される仕組みが整備され、学校生活の充実や向上が図られている。

9 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイデア

- 教員の協力する姿勢が必要。部活顧問はできない、しないという教員がいるのが不思議。
- 対外活動や通常の活動日を増やせるようになると良い。手続きも簡素化されると良い。

検討結果

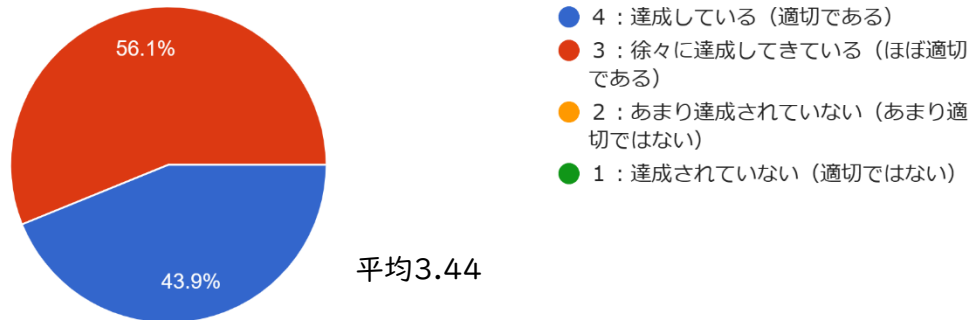
- 部活動の指導体制については、部活動ごとに複数の顧問を配置するなど、学校全体としての適切な指導体制の構築が重要であることから、分掌としては先生方全員へ御協力をお願いしている。今後も「学校全体で取り組む」という観点で、管理職と確認しながら実施していく。
- 部活動の通常の活動日については、適切な休養日の設定、他の教育活動とのバランス、会議日、校務全体における部活動指導のバランス等から、週に2日間が適切と定めている。活動延長についても、同様の理由で対外活動の直近1週間の期間での設定を継続する方向性である。
- 部活動の対外活動については、「対外活動参加規定」において、「年間活動計画で計画され、内容が生徒の活動として適当と判断されたもの」としている。通常活動日設定の観点を踏まえ、対外活動においても効率的・効果的に行われるよう、厳選し、計画的に実施してほしい。
- 部活動に関する手続きについては、職員全体で情報を共有し、確認をするために必要な内容となっていることから、御理解と御協力をお願いしたい。

10 【相談支援】

- ・中学生向けに情報提供が行われ、地域のセンター的機能の充実が図られている。
- ・校内組織、SC や SSW、関係機関と連携し、学級担任や家庭の支援が行われている。

10 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイデア

- 学級担任や家庭の支援は、学年によって手厚さの違いがあるのでは。
- 札幌市内の学校なので、自閉症・発達障がい支援センターおがるの機関支援も受けられると思うので、活用すると良い。

検討結果

- 校内支援委員会やコーディネーターの役割について、改めて全体へ周知する。
担任や学年のニーズに応じてコーディネーターが支援チームを作り、外部機関との連携していく。
SC、SSW、おがるの機関支援などの利用もできる。
コーディネーターから担任へ声掛けを行い、「いつでも相談を」のスタンスで対応していく。
コーディネーターから支援委員会の開催を打診することもある。
- 定例校内支援委員会の充実を図る。
学年間で情報を共有し、早めに支援につなぎ、支援や対応が学年間で大きく異ならないように努める。
- 教務内規（進級認定、卒業認定、欠席が多い生徒への対応）について、教務部から全体へ周知してほしい（定例の校内支援委員会や相談支援部としても連携して）。
- SSW の役割などについて職員研修を行い、可能であればSSWの講話も入れた内容としたい。
- 不登校に関して、通知文や研修資料等をフォルダに入れておき、閲覧できるようにする。
- 不登校の生徒への支援や対応に関して、ミニ研修会（卒業生の事例の紹介など）の実施について検討する。その際、必要に応じて研究部と連携していく。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

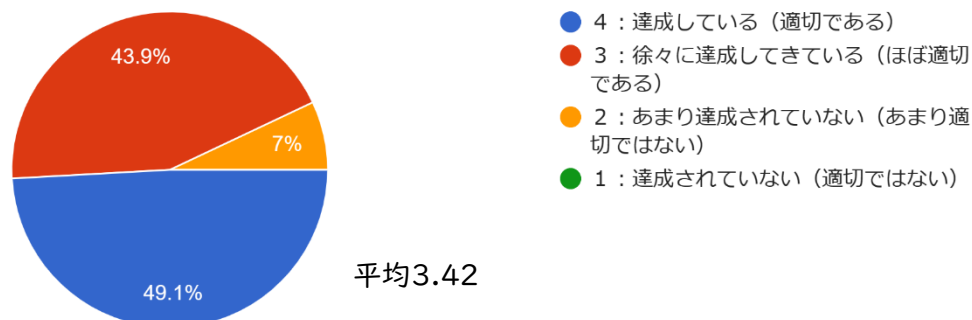
- 不登校の生徒に対する支援について、方策を充実させることが必要では。

11 【進路指導】

- ・進路学習について、3年間で発展的に学習できるように内容が整備されている。
- ・自己選択・自己決定に向けて、現場実習や進路面談の充実が図られている。

11 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイデア

- 進路指導が現場実習のみになっていると感じている。日常的にどのような力を身に付けるのか、どのように指導していくかを組織的に考えられると良い。
- もう少し整理して学校全体で共通理解のもと進められると良い。
- 早い段階で WISC を全員に実施すると、自分の得意、不得意が分かって良い。努力で伸びることと、どうしてもないことが分かるのもとても大切では。
- 学級や学年内で、個々の生徒への対応が薄いと感じることも多い。



学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) より

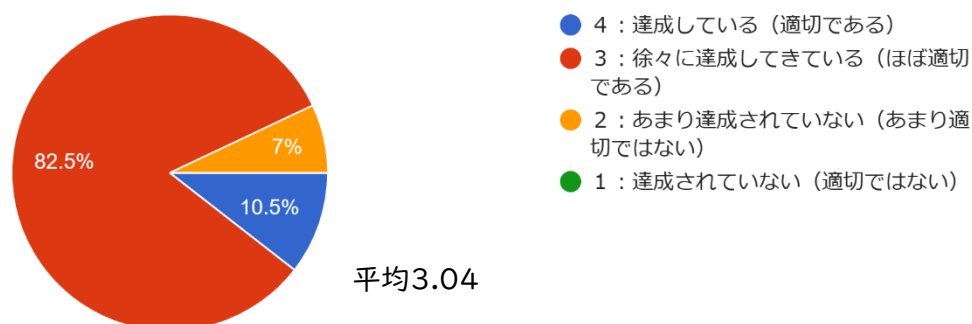
- 本人の希望や意志に沿うことが難しい場合について、対応に工夫が求められる。

12 【地域との連携】

- ・コミュニティ・スクールを導入し、地学協働を進める体制が作られている。
- ・PTA 活動や広報活動を通して、地域や保護者と連携が深められている。

12 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイディア

- 本校が何に取り組んでいるのがよくわからない。
- コロナ禍の中で、人とのつながりを作るのは難しいと思われるが、今後に期待したい。



検討結果

- アフターコロナとなる次年度は、地域との活動を再開していくように、校内の各部署と連携しながら進めていく。
- コミュニティ・スクールについては、担当者からの発信（学校便り、通信等）の充実を図り、本校職員へ周知していく。具体的な取組についても、理解・協力を得て進めていく。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

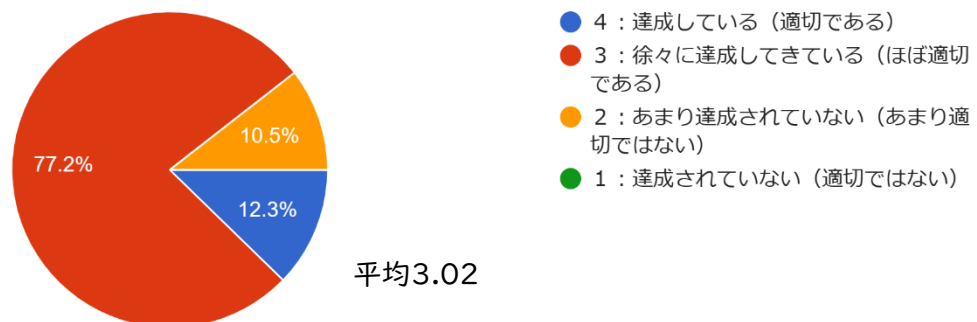
- コミュニティ・スクールにおいて、連携の対象としてまだ生徒達のイメージをつかめていない。

13 【地域との連携】

- ・あい circle の実施に向けて調整が行われている。

13 【4段階評価】

57 件の回答



意見、アイディア

- コロナの関係で実施されていないが、今後達成できると思う。
- 再スタートに向けて検討が始まっているため、今後の展開に期待している。



学校運営協議会（コミュニティ・スクール）より

- あい circle やコミュニティ・スクール、PTA がないと地域と生徒とのつながりが無い。
- 生徒会、部・同好会などを活用しては。
- あい circle が実施されず数年が経った。以前のように保護者向けの販売会を開催してほしい。